

千種町産の米PRへポスター

# 地元高校生を起用

## 「お米甲子園」金賞の実績

安栗市千種町産の米をPRしようと、NPO法人「千種川源流を守る会」と「市北部農業振興協議会」が、授業で米栽培を学ぶ千種高校(同町千草)の生徒を起用したポスターを作った。同校の生徒が育てた米は2020年の全国大会で2位に当たる金賞に輝いた逸品。同法人代表の阿曾茂夫さん(65)は「お墨付きを得

た千種産米で地域を元気にしたい」と意気込む。同校では1年生が地域の休耕田を借り、住民の指導で水稲栽培に取り組み。昨年、高校生が学校などで栽培した米の出来栄を競う「全国農業高校お米甲子園」にコシヒカリ「千種の光」を出品。全国79校の中から金賞に選ばれた。

この名誉を千種産米のPR

安栗市千種町産の米をPRするポスター  
(NPO法人千種川源流を守る会提供)



Rや地域活性化に生かそうと、同法人のメンバーらがポスター作りを計画した。モデルには金賞を受けた当時の同校1年生を起用し、「千種のお米って! ムッチャおいしいで~!!」と呼び掛ける。

ポスターは千種産の米を販売・提供する飲食店などに無料で配布する。問い合わせは交流拠点施設「ちくさええとこセンター」80790・71・0230(平日午前9時~午後4時)(村上晃宏)